

令和8年度 主要・新規事業

“ひと”づくり・“いえ”づくり・“まち”づくり
市民と**共**にみらいの蒲郡を**創**ります



蒲郡市では、SDGsの理念を取り入れた様々な施策展開を図っています。

※SDGs (Sustainable Development Goals)

持続可能な開発目標。「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題に統合的に取り組むための国際社会全体の開発目標。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



事 業 内 容 一 覧

1 イネーブリングシティの実現

「市民が幸福感を感じながら健康で住み続けられるまちづくりを推進」

継 イネーブリングシティの形成を推進します

1

新 **継** マリンロード堤防にアートを描きます

2

2 地域コミュニティ・まちの活性化・防災など

地域コミュニティの再構築により「一人ひとりが輝きつながりあうまちを実現」

新 災害発生後の対応力を強化します

3

継 消防車両の整備を進め、災害対応能力を維持・強化します

4

3 こどもファースト・地域共生社会の実現など

心ある地域共生社会を創り、

「こどもを産み育てやすい、つながり安心して住み続けられるまちづくりを実現」

新 中高生のための第3の居場所開設を推進します

5

新 大塚保育園の建設工事に着手します

6

4 教育・文化など

未来に輝く街を創り「人と文化を未来につなぐまちづくりを推進」

新 中学生が多様な文化・スポーツに親しむ機会・環境を構築します

7

新	<u>小学校の給食費を無償にします</u>	8
継	<u>塩津地区学校複合施設の建設工事を進めています</u>	9
継	<u>西浦地区学校複合施設の建設工事を進めています</u>	10
継	<u>がまごおり「みらいキャンバス」整備に向けて取り組みます</u>	11
継	<u>アジア・アジアパラ競技大会の盛り上げを図ります</u>	12
新	<u>金平テニスコートの改修工事を行います</u>	13

5 健康・福祉・生活・地域など

市民の健康と生命を守り「笑顔がつながり幸せに暮らせるまちづくりを実現」

新	<u>オーラルフレイル歯科検診を開始します</u>	14
新	<u>女性のための相談窓口がはじまります</u>	15
新	<u>無痛（和痛）分娩を開始します</u>	16

6 都市基盤整備・交通・通信・エネルギーなど

暮らしと環境「地域と人がつながり快適な暮らしを支えるまちづくりを実現」

新	<u>竹島ふ頭に整備予定の港湾情報拠点施設の実施設計に着手します</u>	17
新	<u>公園施設の整備を推進します</u>	18
新	<u>下水道への接続にかかる費用を支援します</u>	19

7 産業・経済など

人財育成と力強い経済を創り「人と人がつながり、にぎわいと元気あふれるまちづくりを推進」

新	<u>外国人旅行者誘致促進モデルの実証事業を実施します</u>	20
----------	---------------------------------	----

新

担い手への農地の集積・集約化を進めるための支援を始めます

2 1

8 行財政・SDGs・DXなど

DXの活用による市民参加を進め、持続可能な環境の構築に向け

「未来につながり市民とともに歩むまちづくりを実現」

新

新たな一般廃棄物最終処分場の建設工事に着手します

2 2

拡

サーキュラーシティを推進します

2 3

新

収蔵資料や文化財等に関するデジタルアーカイブを作成します

2 4

新

環境に配慮したボートレースを開催します

2 5

新

…新規事業

継

…継続事業

拡

…拡充事業

イネーブリングシティの実現に向けた取組

~みんなでつくる ハッピー&ヘルシーなまち がまごおり~

イネーブリングシティの形成を推進します

予算説明書 P 71

すべての人がウェルビーイングな状態で、自分らしく暮らし続けられるよう、幸福と健康の両方向から満たされるまち「イネーブリングシティ」の形成を引き続き推進します。これまでのイネーブリングシティウォークで明らかになった、人々の幸福と健康の双方を高める因子（イネーブリングファクター）を市内に実装し、自然と健康になるまちづくりを進めます。

事業費：23,573 千円

(財源内訳：ふるさと蒲郡応援基金繰入金 23,400 千円、一般財源 173 千円)

パブリックアート・蜜蠟アートワークショップ



みどりのイネーブリングシティ

自然の緑を活かした「ワイルドガーデン」による unhappy の改善



地域でのイネーブリングシティ形成の取組

人が集うベンチの設置、草花栽培など、
地域協働でのイネーブリングシティの形成



講演会・報告会

武部貴則氏による講演会及び 3 年間の活動・実証実験の報告会

イネーブリングシティウォーク(ECW)

日常使いできる ECW アプリへの機能アップ

自然に歩きたくなるまち

あと 1,000 歩を後押するクリエイティブ介入の開発

実施体制：横浜市立大学（武部貴則 特別教授等）との共同研究として実施

蒲郡市ウェルビーイング推進本部での全庁的施策検討

問い合わせ先

ウェルビーイング推進課

電話：0533-66-1233 メール：well@city.gamagori.lg.jp

イネーブリングシティの実現に向けた取組

マリンロード堤防にアートを描きます

予算説明書 P 7 9

歩きたくなるまちづくりの一環として、蒲郡駅から竹島や竹島水族館へ向かう道（マリンロード）沿いの堤防にアートを描きます。

まちなかに「アート」を取り入れることで市民や蒲郡市を訪れる人へ楽しみながらまち歩きができる環境を創出します。

事業費：6,000 千円

（財源内訳：寄附金 1,500 千円、ふるさと蒲郡応援基金繰入金 4,500 千円）



蒲郡市制70周年記念事業として制作した堤防アート“蒲曆(がまこよみ)”

実施時期：令和8年11月頃（予定）

デザイン：観光事業者や市民のみなさんのご意見をとりまとめて検討します。

問い合わせ先

産業振興部 観光まちづくり課 シティセールス推進室

電話：0533-66-1225 メール：citysales@city.gamagori.lg.jp

地域コミュニティ・まちの活性化・防災など

災害発生後の対応力を強化します

予算説明書 P 183

被災後の生活再建に必要な支援を受けるために欠かせない「り災証明書」を滞りなく発行することで、市民の不安感を少しでも取り除き、早期復興を促すため、新たな「被災者生活再建支援システム」を導入します。

災害発生時における、迅速な情報伝達と連携体制の強化のため「公共安全モバイルシステム」を導入します。

被災者生活再建支援システム

事業費：6,851 千円（財源内訳：市債 3,600 千円、一般財源 3,251 千円）

新たに導入するクラウド型被災者生活再建支援システムは、り災証明書の発行に必要な被災家屋調査の際にモバイル端末を活用することで事前準備の簡略化、統一的な判断基準による調査、調査情報の即時反映等により従来の方式に比べ 1/4 程度の作業工数で、り災証明書の発行が可能になります。

※「り災証明書」とは、自然災害によって住家に被害を受けた場合に生活再建支援金、税金・公共料金の減免、保険金を請求する際に必要となる証明書です。

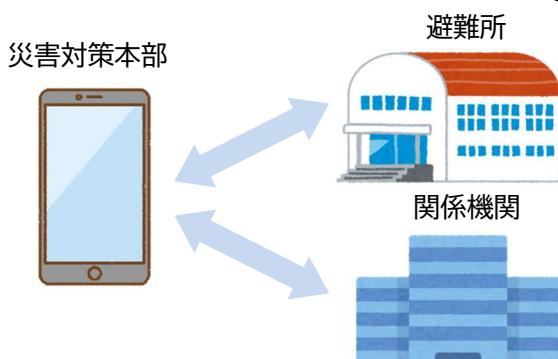


公共安全モバイルシステム

事業費：5,242 千円（財源内訳：一般財源 5,242 千円）

公共安全モバイルシステムは、携帯電話技術を活用した公共機関向けの通信システムです。

災害発生時には、災害時優先回線が割り当てられ、災害対策本部と各避難所、国や県などの関係機関との円滑な連絡や情報共有が可能になります。
※平時には、通常の携帯電話として活用



導入時期

被災者生活再建支援システム：令和9年3月（予定）

公共安全モバイルシステム：令和8年9月（予定）

問い合わせ先

危機管理課

電話：0533-66-1208 メール：kikikanri@city.gamagori.lg.jp

地域コミュニティ・まちの活性化・防災など

消防車両の整備を進め

災害対応能力を維持・強化します

予算説明書P179

市民の生命・身体・財産を守るために、高規格救急自動車・消防団小型動力ポンプ付積載車・査察車を更新します。

事業費：49,591千円

財源内訳：県補助金1,654千円、

モーターポート競走事業収益基金繰入金18,746千円、
ふるさと蒲郡応援基金繰入金5,191千円、市債24,000千円

高規格救急自動車 33,991千円

年間4,000件を超える救急出動に迅速・安全に対応するため、市内5台配備運用中の車両のうち1台を更新します。

更新車両には、自動心臓マッサージ器を搭載するなど、救急隊員の負担軽減を図ります。



消防団小型動力ポンプ付積載車 12,400千円

消防団員の安全・確実な活動と地域の防災力を支えるため市内24台配備運用中の車両のうち1台を更新します。

査察車 3,200千円

防火査察や火災予防啓発、また市内で発生した火災原因調査に対応するための車両を更新します。

配備場所：高規格救急自動車…消防署西部出張所（西浦町）

消防団小型動力ポンプ付積載車…消防団第3分団3班（神明町）

査察車…消防本部（水竹町）

問い合わせ先

消防本部 総務課

電話：0533-68-0935 メール：ssomu@city.gamagori.lg.jp

こどもファースト・地域共生社会の実現など

中高生のための

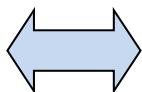
第3の居場所開設を推進します

予算説明書 P 109

中学生・高校生の皆さんのが放課後や休みの日に気軽に立ち寄り、安心して自由に過ごせる「第3の居場所」の開設を推進するため、民間事業者が行う開設・運営に係る費用に対し支援を行います。

事業費：10,000千円（財源内訳：一般財源 10,000千円）

中高生の意見



第3の居場所



利用者となる中高生の意見を聞くワークショップ等を開催し、空間設計やルール作りと一緒にを行い、利用したくなる施設づくりを進めます。

友だちと過ごしたり、一人でゆっくり過ごしたり。宿題やテスト勉強をしたり、ゲームをしたり。気軽に自由に過ごすことのできる場所です。

問い合わせ先

こども健康部 子育て支援課 こども政策推進室

電話：0533-66-1230 メール：kodomo2525@city.gamagori.lg.jp

こどもファースト・地域共生社会の実現など

大塚保育園の建設工事に着手します

予算説明書 P 113

大塚地区における低年齢児保育の拡充を図るため、大塚保育園と大塚西保育園を統合し、新たな大塚保育園を整備します。

事業費：164,706 千円

財源内訳：モーターボート競走事業収益基金繰入金 60,106 千円、

市債 104,600 千円

債務負担行為限度額：令和9年度 1,003,500 千円

大塚地区個別計画に基づき、低年齢児保育の拡充など子育て環境の充実を図るため、大塚保育園と大塚西保育園を統合し、現大塚保育園敷地内に新たな大塚保育園を整備します。令和8年度は、建設工事に着手します。

鳥瞰パース



園舎内イメージ



事業概要：大塚・大塚西保育園を統廃合し、新たな大塚保育園を建設します。

建設場所：現大塚保育園敷地内

予定定員規模：110 人

(0歳児 6 人、1歳児 12 人、2歳児 12 人、3歳児 20 人、4歳児 30 人、5歳児 30 人)

主なスケジュール（予定）：令和8年6月下旬～令和9年9月 現園舎解体・新園舎建設工事
令和9年10月 新園舎供用開始

※工事期間中は、大塚西保育園で合同保育を実施します。

問い合わせ先

こども健康部 子育て支援課

電話：0533-66-1107 メール：kosodate@city.gamagori.lg.jp

教育・文化など

中学生が多様な文化・スポーツに 親しむ機会・環境を構築します

予算説明書 P 191

中学生が文化芸術活動又はスポーツ活動に継続して親しむことができる機会を確保するために、蒲郡市文化・スポーツ教室（仮称）を開設します。

事業費：7,615 千円

財源内訳：県補助金 2,763 千円、諸収入 3,395 千円、
一般財源 1,457 千円

中学校の部活動が、令和8年9月から休日の活動を廃止し、

平日のみの活動になる代わりに蒲郡市文化・スポーツ教室（仮称）を開設します。

基本目標

- ・中学生の健やかな成長を促進するため、地域と連携した文化芸術やスポーツ活動の機会確保
- ・中学生が休日に無理なく活動に参加できる環境づくり

方向性

- ・多様なニーズに沿った活動機会の充実
- ・地域の文化芸術団体やスポーツ団体等との連携、協働の推進



事業の実施予定

実施予定：令和8年9月より、各種目において、月1回または2回の教室を実施します。

対象者：市内中学校及び義務教育学校後期課程の生徒

実施場所：市内中学校の施設を中心に実施

問い合わせ先

教育委員会 学校教育課

電話：0533-66-1165 メール：gakko@city.gamagori.lg.jp

教育・文化など

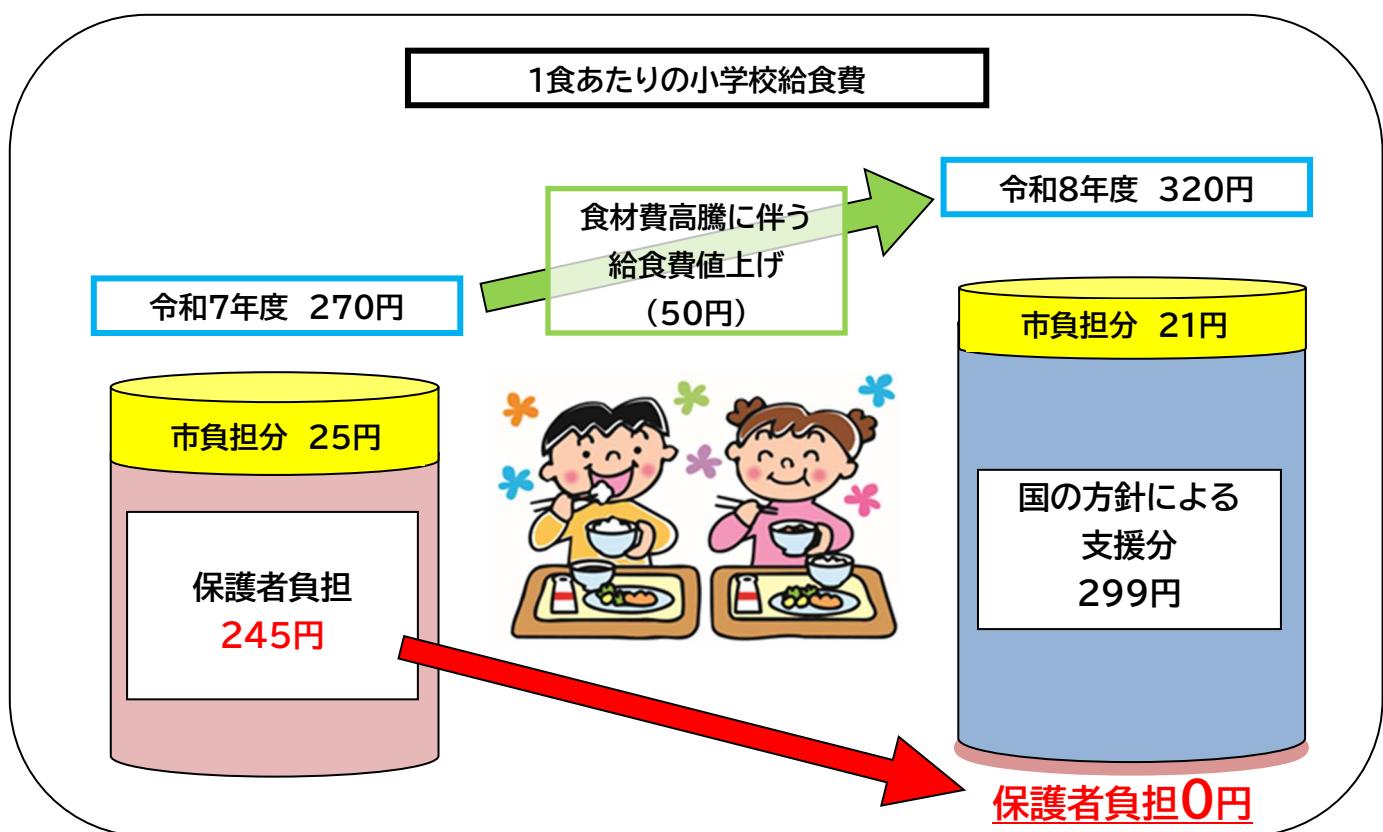
小学校の給食費を無償にします

予算説明書 P 211

食材費の高騰が続く中、4月から全国の公立小学校の給食費を支援する国の方針に伴い、市独自の支援分と合わせ、現在、保護者負担となっている小学校の給食費（食材費）を無償にします。また、中学校の給食費についても、引き続き1食あたり25円を市が負担します。

事業費：212,679千円

〔財源内訳：県補助金 198,695千円、
ふるさと蒲郡応援基金繰入金 13,984千円〕



問い合わせ先

教育委員会 学校給食課

電話：0533-66-1800 メール：kyushoku@city.gamagori.lg.jp

教育・文化など

塩津地区学校複合施設の建設工事を進めています

予算説明書 P 191

塩津地区個別計画に基づく複合施設建設事業に係る建設工事を行っています。

事業費：4,695,498千円

財源内訳：国庫支出金 925,260千円、市債 493,400千円、

モーターボート競走事業収益基金繰入金 3,276,838千円

継続費設定額：令和6年度～令和10年度 8,623,200千円

塩津地区学校複合施設実施設計業務に基づき、令和6年9月から行っている複合施設の建設工事を引き続き進めていきます。

複合施設の鳥瞰パース・工事写真

鳥瞰パース



工事写真(令和8年1月撮影)



事業概要：小学校・保育園・公民館・児童クラブの機能を持つ複合施設を建設する

主なスケジュール（予定）：

令和6年9月～令和9年2月（工事契約期間） 本体工事

令和9年4月 施設供用開始

令和9年度 解体工事

令和9年度～令和10年度 グラウンド整備工事

〔令和6年度～令和10年度の継続費〕

問い合わせ先

教育委員会 教育政策課

電話：0533-66-1166 メール：kyoiku@city.gamagori.lg.jp

教育・文化など

西浦地区学校複合施設の建設工事を進めています

予算説明書 P 193

西浦地区個別計画に基づく複合施設建設事業に係る建設工事を行っています。

事業費：972,359千円

財源内訳：国庫支出金 268,847千円、市債 237,600千円、
モーターボート競走事業収益基金繰入金 465,912千円

継続費設定額：令和6年度～令和10年度 6,580,400千円

西浦地区学校複合施設実施設計業務に基づき、令和6年9月から行っている複合施設の建設工事を引き続き進めていきます。また、令和8年4月には東三河初となる義務教育学校「西浦学園」が複合施設供用開始に先駆けて開校します。

複合施設の鳥瞰パース・工事写真

鳥瞰パース



工事写真(令和8年1月撮影)



事業概要：義務教育学校・公民館・児童クラブの機能を持つ複合施設を建設する
主なスケジュール（予定）：

令和6年9月～令和8年6月（工事契約期間） 本体工事

令和8年4月 西浦学園（小中一貫教育義務教育学校）開校

令和8年9月 施設供用開始

令和8年度～令和9年度 解体工事

令和9年度～令和10年度 グラウンド整備工事

〔令和6年度～令和10年度の継続費〕

問い合わせ先

教育委員会 教育政策課

電話：0533-66-1166 メール：kyoiku@city.gamagori.lg.jp

教育・文化など

がまごおり「みらいキャンバス」 整備に向けて取り組みます

予算説明書 P 207

蒲郡駅周辺エリアにおいて、図書館や市民会館などの施設を複合化し、市民の居場所と活動の場を創るプロジェクト。

がまごおり「みらいキャンバス」基本計画の策定を経て、整備運営事業者（設計・建設・維持管理・運営の一括発注）の選定に向けた取組を進めます。

事業費：64,273千円

（財源内訳：モーターボート競走事業収益基金 64,273千円）

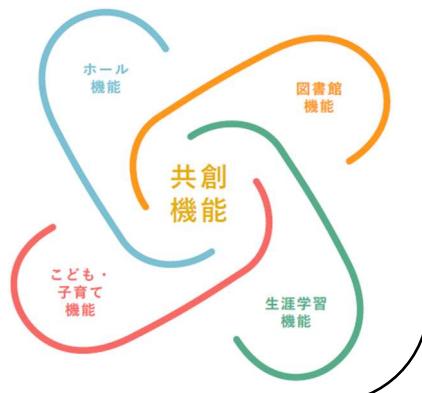
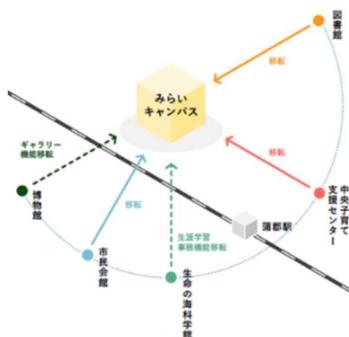
がまごおり「みらいキャンバス」基本計画において、新しい複合施設は民間ノウハウの活用可能性や参入可能性などを踏まえ、施設の設計・施工・維持管理・運営を一括して性能発注する手法、DBO(Design-Build-Operate)方式を導入することが決定しました。

令和7年度から整備運営事業者の選定に向けた取り組みを開始し、令和8年度も取組を進めます。



主に取り組む業務について

- 既往調査の確認及びサウンディング調査の実施
- 事業者公募・選定等準備
〔実施方針・要求水準書等の作成（基礎資料調査含む）〕
- 選定委員会の運営
- 関係機関等との調整



想定スケジュール（予定）：

- 令和9年 1月 整備運営事業者選定に係る公募開始
- 令和9年 9月 整備運営事業者選定
- 令和9年 12月 契約締結

問い合わせ先

教育委員会 教育政策課

電話：0533-66-1219 メール：kyoiku@city.gamagori.lg.jp

教育・文化など

アジア・アジアパラ競技大会の 盛り上げを図ります

予算説明書 P 209

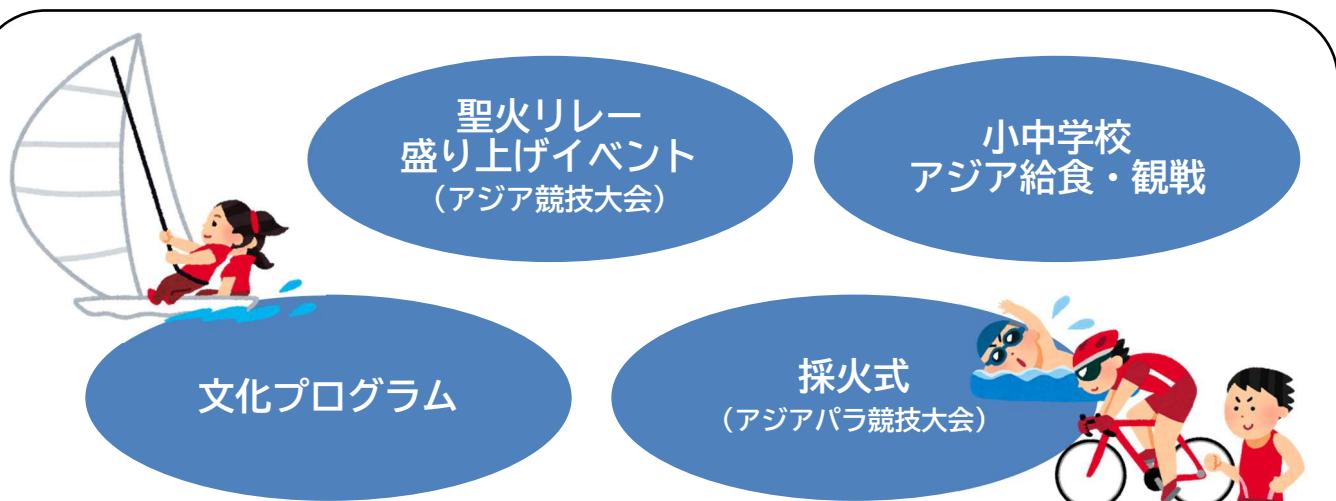
「第 20 回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）」、「第 5 回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）」は、アジア最大級の総合スポーツ大会です。

本市ではアジア競技大会の「セーリング」と「トライアスロン」の 2 競技が実施されます。

両競技の会場所在自治体として、大会の成功に向けた取り組みを加速させます。

事業費：6,878 千円

財源内訳：県補助金 3,000 千円、ふるさと蒲郡応援基金繰入金 2,878 千円、
諸収入【アジア・フレンドシップ事業費助成金】1,000 千円



○第 20 回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）

大会期間 9月19日（土）～10月4日（日）

市内実施競技
・セーリング（9月26日（土）～10月3日（土）、海陽ヨットハーバー）
・トライアスロン（9月20日（日）・21日（月・祝）、蒲郡市内特設コース）

○第 5 回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）

大会期間 10月18日（日）～24日（土）

問い合わせ先

教育委員会 スポーツ推進課

電話：0533-66-1222 メール：sports@city.gamagori.lg.jp

教育・文化など

金平テニスコートの改修工事を行います

予算説明書 P 211

金平テニスコートの改修工事を行います。

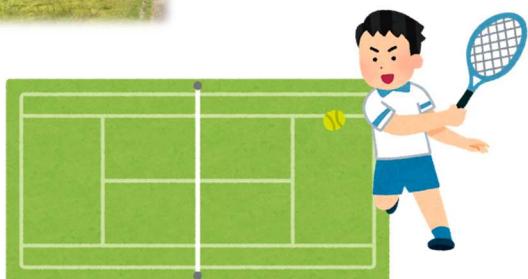
事業費：62,000 千円

(財源内訳：モーターボート競走事業収益基金繰入金 62,000 千円)



競技環境の充実

ナイター照明をLED化し、夜間の競技環境を改善します。また、コート内テントを改修します。



利用環境の充実

管理棟のトイレ、空調設備を改修し、快適な利用環境を整えます。その他、照明、外壁等の改修も行います。



工 期：令和8年8月から令和8年12月まで（予定）

そ の 他：工事中は部分的な利用制限を行います

問い合わせ先

教育委員会 スポーツ推進課

電話：0533-66-1222 メール：sports@city.gamagori.lg.jp

健康・福祉・生活・地域など

オーラルフレイル歯科検診を開始します

予算説明書 P 125

オーラルフレイル（口腔機能の低下）を早期発見するため、従来の歯周病検診に加え、口腔機能検査を追加して実施します。オーラルフレイルを予防することで、フレイル（心身の虚弱）、低栄養、認知機能の低下といった負の連鎖を防ぐことを目指します。

事業費：3,704 千円

(財源内訳：諸収入 2,552 千円、一般財源 1,152 千円)

歯科医院で検診受診

受診票を持参して検診受診
(検査内容)

- 舌口唇運動機能
- 嚥下機能
- 咀嚼能力



オーラルフレイル該当者

検診の結果、オーラルフレイルに該当する方は、歯科衛生士もしくは保健師による、個別指導を実施します。



実施方法：市内受託歯科医院にて検診（歯周病検診＋口腔機能検査）を受ける

検査内容：口腔機能評価（舌口唇運動機能、嚥下機能、咀嚼能力）

費用：無料

対象者：75歳の方（年度末年齢）※該当の方へ受診票を送付します。

開始時期：令和8年6月から

問い合わせ先

こども健康部 健康推進課

電話：0533-67-1151 メール：hoken@city.gamagori.lg.jp

健康・福祉・生活・地域など

女性のための相談窓口がはじまります

予算説明書 P 79

「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」（女性支援新法）の施行に伴い、現在、実施しているDV相談窓口と併せて女性相談窓口を開設します。

事業費：2,937千円

（財源内訳：国補助金1,468千円、一般財源1,469千円）



ひとりで
悩まないで…

近年、DV・生活困窮・孤立・家庭問題など、女性が抱える問題が、複雑化・多様化しています。そのため、DVに限らない様々な悩みに対応できる体制が必要であり、また、国においても女性支援体制の強化が求められています。そのため、本市でも女性が安心して相談できる環境を構築します。

◇女性相談支援事業の主な内容

- 1 相談窓口設置
- 2 啓発活動
- 3 関係機関との連携



開設時期：令和8年6月下旬（予定）

問い合わせ先

市民生活部 協働まちづくり課

電話：0533-66-1179 メール：kyodo@city.gamagori.lg.jp

健康・福祉・生活・地域など

無痛(和痛)分娩を開始します

近年、要望が高まっている無痛（和痛）分娩（麻酔薬を用いて痛みを軽減する分娩方法）での出産を開始します。出産方法の選択肢として、これまでの自然分娩（普通分娩）、帝王切開に無痛（和痛）分娩が加わります。

令和8年4月に女性常勤医師1名が増員予定となり、市内唯一の出産取扱い病院として、「地域のお産を守る」ため、妊娠から育児までの協力体制を整え、安心・安全な周産期医療を提供します。

「無痛(和痛)分娩」とは

麻酔薬を使って陣痛の痛みを緩和するお産の方法で、当院では、麻酔科医による硬膜外麻酔での和痛分娩を行う予定です。

「無痛＝痛くない」ではなく、「和痛＝痛みを和らげる」もので、痛みが完全になくなるわけではありませんが、体の負担を軽くするとともに出産をより穏やかに迎えることができます。

=蒲郡市民病院でのお産の特徴=

- ・分娩予約数に制限はありません
- ・里帰り分娩を受け付けています
- ・産後ケア事業を実施しています
- ・午後診療を実施しています
- ・産婦人科と小児科の連携で安心です



開始時期：令和8年5月（予定） 相談・受付は産婦人科外来まで

費用の目安：約53万円（通常分娩）+ 約15万円（無痛（和痛）分娩）

※費用はあくまで目安ですので、分娩の時間や処置、経過により増減があります。

また、特別室料、夜間休日加算など、別途かかるものがあります。

問い合わせ先

蒲郡市民病院 医事課

電話：0533-66-2200 メール：hospital@city.gamagori.lg.jp

都市基盤整備・交通・通信・エネルギーなど

竹島ふ頭に整備予定の

港湾情報拠点施設の実施設計に着手します

予算説明書 P 167

「日常的に過ごしたくなる港」の実現に向けて竹島ふ頭に整備予定の、港湾情報拠点施設の実施設計に着手します。

この施設は、みなとのシンボルとなる機能を持つ施設です。海辺で多目的な活動ができる全天候型の空間と、商業、旅客ターミナル、事務所など機能が集約された建物の整備を計画しています。

事業費：106,800 千円

財源内訳：国庫補助金 53,400 千円、市債 48,000 千円、

モーターボート競走事業収益基金繰入金 5,400 千円

検討段階の竹島ふ頭



※デザインはイメージです

発注方式：プロポーザル方式による受託者候補特定を予定

問い合わせ先

建設部 みなとみらい課

電話：0533-66-1281 メール：higashikou@city.gamagori.lg.jp

都市基盤整備・交通・通信・エネルギーなど

公園施設の整備を推進します

予算説明書 P 171

清田町一沢地内および本町地内での新たな公園整備と、若宮公園の老朽化したトイレと管理棟の更新を実施します。市民の皆様の憩いの場となるよう、地域に親しまれる公園づくりを進めます。

公園整備（一沢公園、東廓公園）

事業費：158,700千円

（財源内訳：国補助金 43,000千円、市債 47,400千円、一般財源 68,300千円）



近隣にお住いの方を対象にアンケート調査を実施し、ワークショップ等を通じてご意見を伺いながら、公園の計画を進めました。公園内には、いただいた意見をもとに遊具やベンチなどを配置し、日常的に利用しやすい憩いの空間を整備します。

若宮公園 トイレ・管理棟改修

事業費：49,114千円

（財源内訳：国補助金 24,500千円、市債 22,000千円、一般財源 2,614千円）

多くの市民の利用が見込まれる立地特性等を踏まえ、令和7年度に実施した「がまごおり学生チャレンジコンペ」の最優秀作品をもとに実施します。受賞した学生と協力して、公園や周辺環境と一体となった憩いの場となるよう整備を進めます。



※最優秀作品 提案模型

問い合わせ先

都市開発部 都市計画課

電話：0533-66-1141 メール：keikaku@city.gamagori.lg.jp

都市基盤整備・交通・通信・エネルギーなど

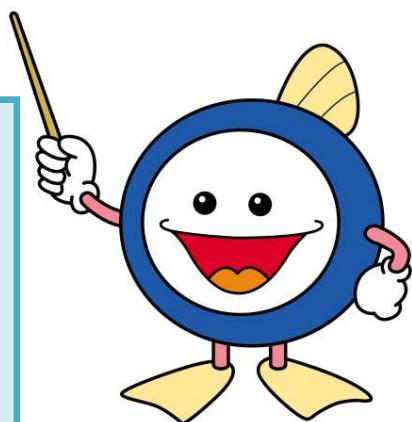
下水道への接続にかかる費用を支援します

汚水の排除による生活環境の改善と河川などの公共用海域の水質保全のため公共下水道への接続費用を最大3万円補助します。

事業費：1,000千円（財源内訳：一般財源1,000千円）

【対象となる費用】

宅地内の排水設備を下水道に接続するための費用。
※新築及び増改築、下水道接続済みの方の改修工事等の費用は対象外になります。
※他の補助金と併用はできません。



下水道マスコットキャラクター
「スイサイ」



【補助を受けるためには】

- 申請される方の下水道事業受益者負担金及び市税の滞納がないこと。
- 蒲郡市の指定工事店が施工していること。
- 下水道の認可区域内であり、供用開始または開始が見込まれる区域であること。

受付開始日：令和9年1月以降を予定。

問い合わせ先

上下水道部 下水道課（管理・排水設備担当）

TEL：0533-66-1139（管理担当）・補助金に関すること

TEL：0533-66-1140（排水設備担当）・下水道接続に関すること

mail：gesui@city.gamagori.lg.jp

産業・経済など

外国人旅行者誘致促進モデルの 実証事業を実施します



予算説明書 P 153

中部国際空港に到着するインバウンド旅行客に対して、空港から片道2時間圏内かつ観光入込客数と観光施設数が多いモデル地域（常滑市、半田市、西尾市、蒲郡市）で連携して、横断的な課題を設定し、当該課題を解決できるスタートアップや事業会社を募集して開発・実証実験に取り組みます。

事業費：2,250千円

財源内訳：国庫補助金 1,125千円、
ふるさと蒲郡応援基金繰入金 1,125千円



中部国際空港に到着したインバウンド旅行客の約7割が愛知県内を訪問しており、残りの約3割のうち、約2割が名古屋市内への訪問となっており、広域的な県内周遊が起こっていない現状があります。

そのため、4市×スタートアップ×事業会社×愛知県による中部国際空港を起点とする広域連携したインバウンド誘客を行い、観光振興を図ります。

事業の実施予定

実施期間：令和8年4月から令和9年3月まで

実施内容：ガバメントピッチイベント、プレゼンテーション、プロジェクトの磨き上げ～実証実験

問い合わせ先

産業振興部 観光まちづくり課

電話：0533-66-1120 メール：kanko@city.gamagori.lg.jp

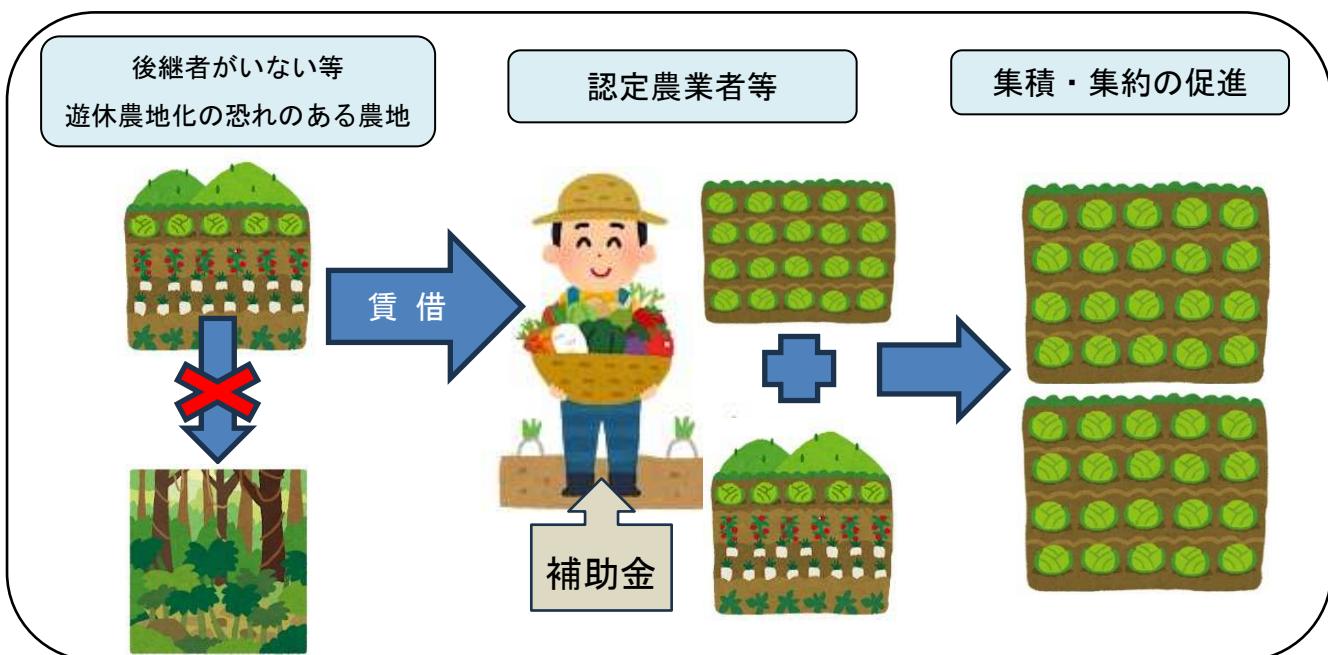
産業・経済など

担い手への農地の集積・集約化を 進めるための支援を始めます

予算説明書 P 141

高齢化や人口減少に伴い農業従事者の減少が進むことで、だれからも利用されない農地の増加が懸念されています。この問題への対策として、農地の集積・集約化を進めるための補助金を創設し、農地の有効活用と最適化を促進します。

事業費：600 千円（財源内訳：一般財源 600 千円）



事業内容（予定）

交付額：5,000円（10aあたり）

ただし、同一年度内の複数申請は上限50,000円

交付条件：農地中間管理機構を通じて新規に10年以上の利用権を設定し、その土地が現在の経営農地と一団となる場合

交付対象者：蒲郡市内に住所を有する認定農業者、認定新規就農者
蒲郡市内に事務所を有する農地所有適格法人

問い合わせ先

産業振興部 農林水産課

電話：0533-66-1127 メール：norin@city.gamagori.lg.jp

行財政・SDGs・DXなど

新たな一般廃棄物最終処分場の建設工事に着手します

予算説明書P137

将来を見据えた適正なごみ処理施設の整備を進めます。

事業費：842,451千円

財源内訳：国庫支出金 164,418千円、市債 503,700千円、

モーターボート競走事業収益基金繰入金 174,333千円

継続費設定額：令和8年度～令和11年度 9,071,600千円

現在の一般廃棄物最終処分場(大塚町)は、平成12年の供用開始から25年が経過し、令和11年度末頃に埋立用量に達することが見込まれます。将来にわたり、適正なごみ処理を継続するため、令和11年度中の供用開始を目指し、新たな一般廃棄物処分場を一色町地内(一色不燃物最終処分場隣)に整備します。



建設予定図

施設概要：敷地面積 24,900m²

埋立面積 9,930m²

埋立容量 58,000m³

埋立期間 15年間

工事期間：令和8年8月から令和11年8月（予定）

問い合わせ先

市民生活部 環境清掃課

電話：0533-57-4100 メール：seiso@city.gamagori.lg.jp

行財政・SDGs・DXなど

サーキュラーシティを推進します

予算説明書 P 71

資源を効率的に循環させて持続可能な社会をつくるとともに、経済成長を目指すサーキュラーエコノミーを推進することで、「サーキュラーシティ」の実現を目指します。

事業費：15,505 千円

財源内訳：国庫補助金 7,650 千円、ふるさと蒲郡応援基金繰入金 7,650 千円、一般財源 205 千円

- 「がまごおり循環経済イノベーションコンソーシアム」を設立します。

サーキュラーエコノミーの推進を加速させるため、市内外の企業が参画する推進組織を構築し、企業向けセミナーの開催や相談、マッチングなど総合的な支援を行います。

- ”蒲郡発”サーキュラーエコノミーに特化した企業・事業の創出を目指します。

企業内ベンチャー、スタートアップ等への新規事業創出支援及び企業の事業拡大支援など、事業段階に応じた伴走型の支援を行います。



- 市民向けワークショップを開催します。

市民への認知を広げ、行動変容を促すため、地域企業と連携した市民向けのワークショッププログラムを開発・開催します。



新しい循環の輪が、
つながる 交わる 広がる



サーキュラー
シティ
蒲郡
CIRCULAR
CITY
GAMAGORI

問い合わせ先

企画部 企画政策課 サーキュラーシティ推進室

電話：0533-66-1226 メール：circular@city.gamagori.lg.jp

行財政・SDGs・DXなど

収蔵資料や文化財等に関する デジタルアーカイブを作成します

予算説明書P205

博物館で収蔵している資料や市内の文化財等について、クラウドを利用してデータを登録し、インターネット上から検索・閲覧ができるデジタルアーカイブを作成します。

上半期においては導入支援を受けて、入力するデータ項目の検討や資料の分類設定等を行い、下半期を目標に、システムを利用したデジタルアーカイブの順次公開をめざします。

将来的には、小中学校の学習教材や一般活用、アプリを利用した展示音声ガイド等にも取り組む予定です。

事業費：528千円（財源内訳：一般財源528千円）

令和8年4月～

システム導入準備

データ項目検討、
分類設定等、
導入時の支援委託



将来…

学習教材・ 展示音声ガイド



10月～

デジタル アーカイブ公開

システム月額利用料



問い合わせ先

教育委員会 博物館

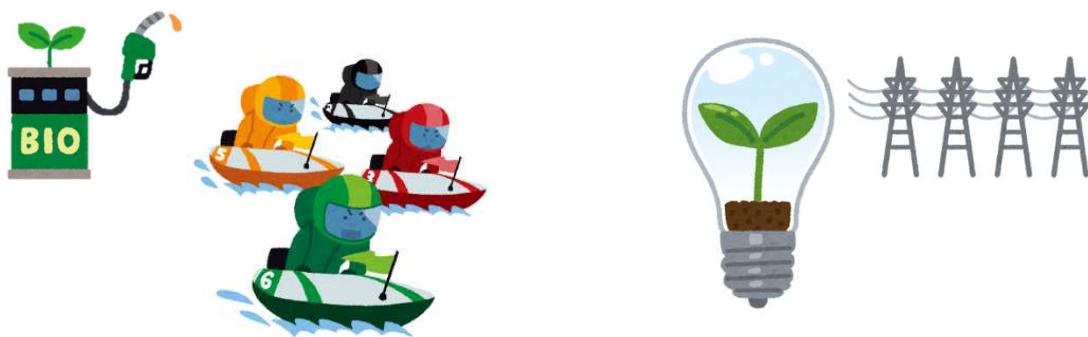
電話：0533-68-1881 メール：museum@city.gamagori.lg.jp

行財政・SDGs・DXなど

環境に配慮したボートレースを開催します

脱炭素社会の実現に向けて、二酸化炭素の排出ゼロの電力調達及び競走用モーターにバイオ燃料を使用し、ゼロカーボンに向けた取組を推進します。

事業費：54,932千円（財源内訳：一般財源54,932千円）



ボートレース蒲郡では、二酸化炭素の排出ゼロによる電力及び競走用モーターに、バイオ燃料である植物由来のバイオエタノールを30%混ぜた新燃料の「E30ガソリン燃料」を採用して、環境に配慮したレースを実施し、ゼロカーボンを推進していきます。

【事業内容】

ボートレース場の各施設で使用する電気について、太陽光や風力などの再生可能エネルギーに由来する電気を採用すること及び競走用モーターの燃料をE30ガソリン燃料にすること（E30ガソリン対応の燃料施設改修）で、二酸化炭素の排出削減に貢献していきます。

【採用時期】

- ①施設の電気：契約の切替時期である令和8年10月から実施予定
- ②E30ガソリン燃料：競走用モーターの更新時期である令和8年8月から実施予定

【削減効果】

- ①施設の電気：二酸化炭素の排出量（令和6年度実績1,243.1tCO₂）をゼロへ削減
(施設全体では二酸化炭素の排出量を約69.86%の削減)
- ②E30ガソリン燃料：二酸化炭素の排出量を約12.15%の削減
(E30ガソリン燃料はモーター艇競走会が費用負担しています)



問い合わせ先

ボートレース事業部 経営企画課・事業課

電話：0533-67-6606 メール：kyotei@city.gamagori.lg.jp